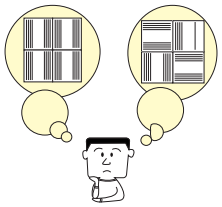
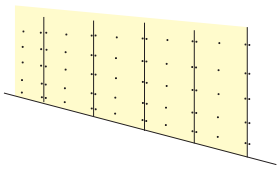
■設計者の皆様方へ　※オーダーされる前に必ずお読みください※不明点等ございましたらお気軽にお問い合せください。
■施工業者の皆様へ　※施工される前に必ずお読みください※不明点等ございましたらお気軽にお問い合せください。

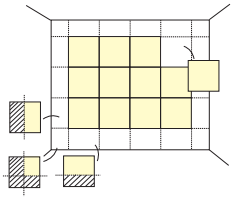
DS ボード M 工法



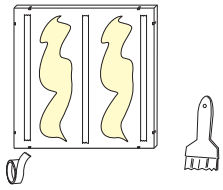
1. デザインにより必要枚数を決定します
端部の調整用も考慮して数量を拾い出しましょう



2. あらかじめ、施工する面に合わせて仮並べを行い、墨だしを行います



3. なるべく中央から貼り始め、両隅で必要に応じパネルをカットして調整します



4. 接着剤・両面テープ等を併用し施工します
※ピンタッカーでの固定を推奨します
必要に応じ巾木等見切り材をご使用ください
（現場調達品）

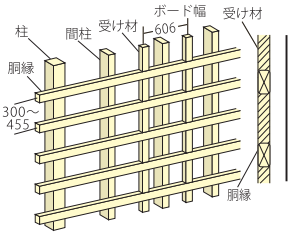
■施工前のご注意

1. 施工前の保管に際しては平らな場所に平積みにしてください。立てかけや凸凹な面での平積みは反りの原因になります。
2. 火気の近くや水・油等がかかるような場所には施工しないでください。火災や変色・変質の原因になります。
3. 現場で塗装される場合はあらかじめ不要な端材等に試し塗りを行って塗装の状態を確認してから行ってください。
4. 着色塗装品の追加注文の場合は必ず先分の端材を色手板としてお送りください。なるべく近似となるように塗装いたします。手板なき追加注文の場合、色違いになるおそれがあります。
5. 商品の取り扱いには充分注意してください。パネルを破損して使用不能になることがあります。

合板タイプ

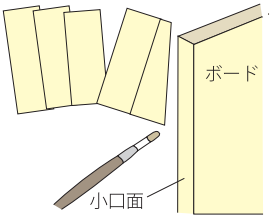
1　下地の加工

※下地に含水率の高い材料を使用すると、突板表面がシミになる場合があります。
充分乾燥した材料をご使用ください。
※石膏ボードか合板を使用する場合、胴縁は必要ありません。



下地材は、図のように組んでください。その時、受け材をボード 606mm に合わせてください。または、下地材を石膏ボードか合板で仕上げますと表面を平滑に仕上げられ、簡単に施工できます。

2　割付・施工



壁間や天井の長さを測り、ボードを仮並べして色・柄のバランス、納まりを確認してください。ボード幅は 606/910mm です。まわりの色、柄と合いにくい場所は目立たない場所にご使用ください。ボードを切断して使用する場合は、小口面をボードと同じ色合いで塗装してください。



色、柄のバランスと納まりを確認して施工してください。美しく仕上げるため、接着剤のみの施工をお勧めします。

〈現地調達品〉
接着剤：ゴム系または酢ビ系

推奨品

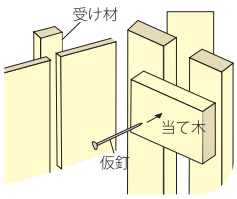
両面テープと接着剤を併用する場合	フィニッシュネールと接着剤を併用する場合	フィニッシュネールと酢ビ系接着剤を併用する場合
○ボンド KU910 ○ボンド TM テープ W1-20 または同等品をご使用ください	○ボンド PX2000 ○各種フィニッシュネール または同等品をご使用ください	○ボンド木工用速乾またはボンド NEW CH18 ○各種フィニッシュネール または同等品をご使用ください

※両面テープやフィニッシュネールの他、仮止め釘もご使用いただけます

釘：接着剤のみの場合＝仮釘
接着剤と釘を併用する場合＝釘頭が目立ちにくい、かくし釘やカラーネイルをご使用ください

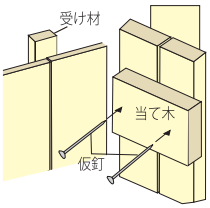
3-1《ボードを目透かしで施工する場合》

ボードを目透かしで施工します。受け材がボード継ぎ目部分にあることを確認してください。貼る際に、ボードの隙間が一定になるように、順序よく施工してください。接着剤のみで使用される場合は、接着剤が固まるまで仮止め用釘で固定してください。隙間部分から接着剤がはみ出た場合は、その部分が変色することがありますので、すばやく拭き取ってください。
目透かしの下地部分に市販のテープ（現地調達品）または色付けなどを施しますと美しく仕上がります。



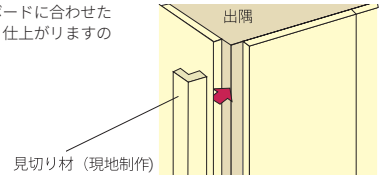
3-2《ボードを突き付け施工する場合》

ボードを突き付けで施工します。受け材がボード継ぎ目部分にあることを確認して、順序よく施工してください。
接着剤のみで使用される場合は、接着剤が固まるまで仮止め用釘で固定してください。接着剤がはみ出た場合は、その部分が変色することがありますので、すばやく拭き取ってください。 天井材としての施工も同様に行ってください。
ボードの継目部分は、受け材があることをご確認ください。



4．出隅（コーナー部）の施工方法

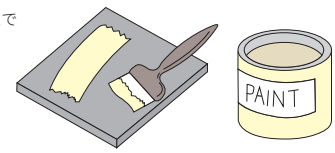
出隅用の見切り材を現地で作り、ボードに合わせた着色塗装を行い施工しますと美しく仕上がりますので、お勧めいたします。



5．無塗装品を現地で着色塗装する場合

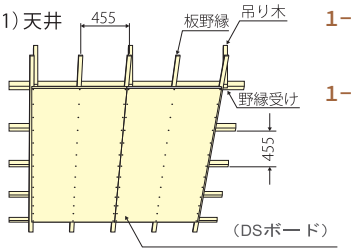
ボードの切れ端に試し塗りをし、色調を確認したうえで作業を行ってください。

※台所など火気の使用頻度の高い場所には、ご使用を避けてください。コンクリート下地への施工は避けてください。



不燃タイプ

1　下地の加工



1−1　天井

野縁受けは 455mm 間隔に組み、これと直交させて板野縁を 455mm 間隔に組んでください

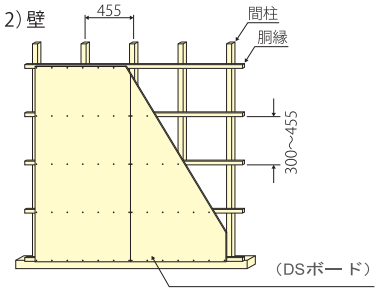
1−2　壁

間柱は 455mm 間隔としこれと直交させて胴縁を 300~455mm 間隔に組んでください

2　割付・施工

切断はボードカッター、丸ノコを用いて行います

3　取付け



3−1　釘打ち又はビス工法

亜鉛メッキ太平頭釘、カラー釘又はタッピングねじで取付けてください

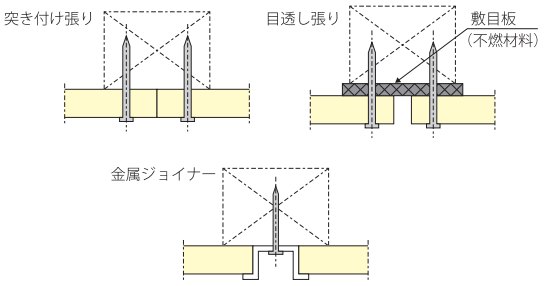
釘又はねじ打ちピッチは 150mm 以下としてください

3−2　接着工法（壁のみ）

酢酸ビニル系樹脂又は無機系接着剤を、下地に 150mm 間隔に点状塗布し接着硬化剤まで仮押さえにより圧着してください

接着剤の塗布量は 150g/ ㎡とします

4　目地加工



目地は突き付けを原則とします

目透しの場合は不燃材料の敷目板を敷くか、又は金属ジョイナーを使用してください

施工前・施工後のご注意

保　　管：ＤＳボードは湿潤などの害を受けないよう、常に乾燥した清潔なところに保管してください
取　扱　い：油気、汚れなどのない清潔な手で扱い、運搬に際しては衝撃を与えないように丁寧に取り扱ってください
施工後の養生：施工後、不当な衝撃や接触を避け、特に吸湿汚染の防止に注意してください

【重要】

天然木突板仕様の商品はロット、サイズ、木目柄や木肌の違いにより色違いがございます。そのためなるべく塗装色が合うよう塗装品は出荷数毎のロット塗装を行っております。一壁面または隣り合う壁面で連続して使用する場合は、同サイズ、同発注ロットのものを使用してください。

また、追加発注させる場合は色違いを防ぐため、ご使用になった製品の端材等、色、柄が判断できるものを見本手板としてお送りください。なるべく近似となるよう塗装いたします。見本がない場合、同指定色でも塗装や木目柄の状態で仕上げ色に相違が出ることがございます。

【製品のご注意】

1. 表面の突板は、ひのき以外は幅 2 尺のもので 1 枚～ 2 枚剥ぎ、幅 3 尺のもので 1 枚～ 3 枚剥ぎです。ひのきの場合、幅 2 尺のもので 1 枚～ 3 枚、幅 3 尺のもので 1 枚～ 4 枚剥ぎです。
2. 表面突板の剥ぎ数へのご注文にはお答えいたしかねます。
3. 釘打ち、ねじ打ちの際はボードの割れ・欠けに充分注意して施工してください。
   （釘打ち・ねじ打ちする箇所がボードの端に寄りすぎますと、割れ・欠けの原因となります。ボードの端材等で釘打ちをお試しになってから施工を行ってください）
4. 記載された仕様価格・デザインは改良のため予告なしに変更する場合があります。

使用上のご注意・日常のメンテナンス

1．日頃のメンテナンスは、柔らかな布でカラ拭きしてください。特に汚れのひどい場合は、中性洗剤を水で薄め、固く絞った雑巾で行ってください。
2．無塗装品のままご使用になりますと湿気・水滴等によりシミ・カビ・汚れが生じます。必ず塗装などの表面処理を行ってください。特に無塗装品は、水を含みますとシミになることがありますのでご注意ください。
3．塗装品は乾いた布でカラ拭きしてください。無塗装品を現場塗装した場合、ご使用になられた塗料メーカーのお手入れ方法も考慮してください。汚れが落ちにくい場合は中性洗剤を水で薄め、雑巾などを浸し固く絞ってから拭き取ってください。
4．水に濡れた場合や結露水が生じた場合は、すぐに乾いた布で拭き取ってください。そのまま放置しておりますと、シミや変色、カビ、ひび割れなどの原因となりますのでご注意ください。
5．木質系の商品は多少の寸法誤差や形状変化、色調が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
6．商品を乱暴に取り扱わないでください。